

農村家族における児童養育費の研究(Ⅱ)

——家族周期からみた家計分析を中心に——

前 田 正 久

はじめに

家族周期段階の移行は必然的に家族の構成に変化をあたえ、家計の構造もまた変化する。この小論では家計構造の変化の中で児童はどのように養育費の分配を受け、また、両親である夫婦や他の家族成員へ分配される生活費との関連において、養育費構造のいかなる部分が圧縮され、ひずみをあらわすであろうかなどの諸点について、アプローチを行ったものである。本稿は福島県下のフィールドにおける調査結果を中間報告としてまとめたものであるが、観察に当たって、その前年川崎市で実施した都市勤労家計群(大都市における組織労働者家族)との対比も若干行っている。

I 家計分析のための研究模型への追加

研究模型の設定については、分析Ⅰ(森岡清美執筆)に詳しいが、児童の発達段階については若干これを修正し、次のように細分してこの分析には用いている。

未就学児(授乳中の児).....	1 ^A
“ (離乳後の児).....	1 ^B
小学生(1,2,3年の低学年生).....	2 ^A
“ (4,5,6年の高学年生).....	2 ^B
中学生.....	3
高校生.....	4
高卒後大学卒ま } 短大生.....	5 ^{タン}
での当該年齢児 } 農耕従事.....	5 ^ウ

段階1を2分したのは、授乳中の母乳児はほとんど飲食物費がかからないのに対して、離乳後の未就学児は年齢相当の飲食物費を必要とし、養育費規模において明らかな差のある点を明確にしたかったからであり、2の段階は3,4の段階がそれぞれ3年、4年というインターバルを持つ段階であるのに対して6年とその段階期間が長きに失するのを考慮したためであり、5段階では高段階で最も比重の高い教育・教養費がすでにかからない自家農業従事の児とそのかかり方の激しい短大・大学在学児を含むタイプとに分離をしたかったからである¹⁾。

結婚後、まだ児の生まれていない若い夫婦集団をとり、それを多年に亘って観察すれば家族周期の段階移行に伴う家計の変動を正確に把握することはできる。しかし、それには20有余年の研究期間を必要とする。そこで、現に併存する周期段階の異った家族を分析Ⅰで述べられているような、ある限度枠の中で選定し、それを発達の順序に配列することによって、あたかも同一の家族の周期段階移行が行われているかのように再現をはかり、——段階をタイプ化し、3桁の記号で与えた。たとえば、000は児のいない家族、003は中学生の1人子をもつ家族、02^A1^Bは長子が小学低学年生、末子が未就学児の2人の子をもつ家族、432^Bは3人子で長子が高校生、次子が中学生、末子が小学高学年生の家族として表現した——その家計の変動と児童養育費の変化とを究明したものである。

タイプは21に分れているが、各タイプの家族構成を示すと表1のとおりである²⁾。

ほぼ、長子の発達段階によって、児童もその両親に当る夫婦も年齢対応がついているが、1人子の中学生をもつ父親の年齢が、2人子、3人子の父に比して高年齢にあってその点だけ若干対応関係がくずれている。

なお、これらのタイプを生起せしめる要因の一つである出生間隔は、分析Ⅰの表6にみられるとおりであるが、児童数が多いほど、次第にその出生間隔を短縮している。

- 1) 分析Ⅲ(長嶺晋吉執筆)の栄養分析のところで使われている集約段階との関係は次のようであり、Ⅰは児のいないタイプ、Ⅱ、Ⅲはそれぞれ若い段階と高い段階の1人子をもつ家族、Ⅳ、Ⅴは長子が若段階と高段階にある2人子家族、Ⅵ、Ⅶは3人子の長子がそれぞれ若段階と高段階とにある家族に分けた集約タイプである点に注意されたい。

I: 000	II: 001 ^B	IV: 01 ^B 1 ^B	VI: 2 ^A 1 ^B 1 ^B
	002 ^A	02 ^A 1 ^B	2 ^B 2 ^A 1 ^B
	002 ^B	02 ^B 2 ^A	32 ^B 2 ^A
III: 003	V: 032 ^B	VII: 432 ^A	
004	043	432 ^B	
	05/ウ4	443	
		5/ウ43	

- 2) 各タイプはすべて児童とその両親は現存しているので、平均的な年齢で説明できるが、直系尊属や傍系に当るその他の家族成員は、その平均に意味を認め難いので、表1には省略してある。

表1 各タイプの家族構成

タ イ プ			夫	妻	第 1 子		第 2 子		第 3 子		
	0	0	0	26.0 歳	26.0 歳	歳		歳		歳	
1人子タイプ	0	0	1 ^B	29.6(29.0)	28.3(27.3)	2.0(2.1)					
	0	0	2 ^A	34.5(37.5)	32.0(33.9)	小学1年生	6.5(8.1)				
	0	0	2 ^B	37.0	35.5	小学6年生	11.5				
	0	0	3	40.0(41.5)	40.0(38.5)	中学3年生	14.0(13.0)				
	0	0	4	41.0(43.7)	39.3(41.2)	高校2年生	16.0(16.8)				
2人子タイプ	0	1 ^B	1 ^A	29.0	26.0	2.5		0.0			
	0	1 ^B	1 ^B	30.6(33.4)	28.0(29.9)	4.6(4.2)		2.4(1.6)			
	0	2 ^A	1 ^B	31.5(36.5)	29.9(33.1)	小学2年生	7.1(7.9)	3.5(4.8)			
	0	2 ^B	2 ^A	35.6(38.0)	33.2(34.0)	小学5年生	10.3(10.0)	小学2年生	7.7(8.0)		
	0	3	2 ^B	36.6(42.7)	34.9(38.3)	中学2年生	13.4(13.5)	小学5年生	10.7(10.0)		
	0	4	3	41.0(45.3)	38.4(41.2)	高校2年生	16.4(16.2)	中学2年生	13.1(13.2)		
	0	5ノウ	4	43.7	43.7	19.7		高校2年生	16.7		
3人子タイプ	2 ^A	1 ^B	1 ^B	33.0(36.5)	29.7(33.1)	小学2年生	7.7(7.9)	5.3(5.1)		2.7(1.7)	
	2 ^B	2 ^A	1 ^B	35.5(37.5)	32.6(32.0)	小学6年生	11.1(9.8)	小学2年生	7.6(7.5)	4.4(3.2)	
	3	2 ^B	2 ^A	37.2(43.5)	35.0(37.8)	中学1年生	12.8(13.3)	小学5年生	10.2(11.0)	小学2年生	7.2(8.3)
	4	3	2 ^A	40.3	38.9	高校2年生	16.3	中学2年生	13.4	小学3年生	8.1
	4	3	2 ^B	40.9(44.8)	39.7(41.3)	高校2年生	16.4(16.2)	中学2年生	13.6(13.0)	小学5年生	10.6(10.1)
	4	4	3	42.8	40.5	高校3年生	17.7	高校1年生	15.2	中学1年生	12.5
	5ノウ	4	3	46.5	42.8	19.3		高校3年生	17.0	中学3年生	14.0
	5タン	4	3	46.0	44.0	短大2年生	19.0	高校2年生	16.5	中学3年生	14.0

注 () 内は川崎モデルの値である。

傾向は、前年の川崎例に近似し、それは、また全国的な傾向とも一致している。ただ、川崎例と比較し、川崎の1人子の出生までの結婚持続期間が1年11月であるのに対し、このモデルの1人子が出生するまでの結婚持続期間は3年10ヵ月と長く異質的である。

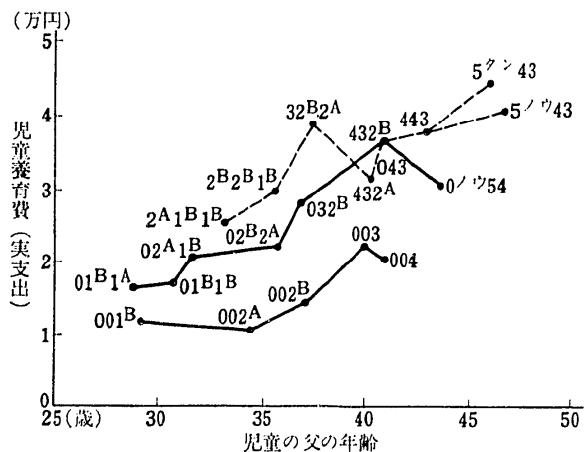
そのため、モデルの平均初婚年齢が夫23.2歳、妻21.3歳と、川崎例の夫26.6歳、妻23.2歳に比して、夫の初婚年齢が約3歳若いにもかかわらず、1人子の各段階の夫の年齢が、川崎モデルとほぼ一致している。しかし、2人子、3人子の出生間隔は川崎モデルと近似しているの、このモデルの父親(夫)の年齢は各タイプとも川崎モデルよりは3歳前後若い年齢となっている。

II タイプの移行に伴う児童養育費総額の変化

図1によって変化をながめてみよう。

- (1) モデルの夫婦は全国平均よりかなり若い年齢で結婚しているが、1人子の場合の出生間隔が長いので、1人子系列の001^Aタイプの発生相当年齢にある夫は、おおむね27歳前後となるが、モデルでは001^Aタイプが得られず、001^Bタイプから始まるので、児童の年齢は2.0歳、夫の年齢は29.6歳でリンクする。この段階の養育費は12,203円で家計費

図1 世帯主の年齢でリンクした児童養育費の変化



(家計上の実支出額を指す)の22%に当るが、タイプ移行に伴い次第にその養育費を増加し、高段階では約2万円の養育費分配をうけて家計費の4分の1を占めるに至る。川崎モデルと対比すると003タイプは川崎より恵まれ、他のタイプはその養育費分配量にそれほど差がない。しかし、003タイプを境に、その上位段階に向ってその額が低下する姿は、両モデルとも相似している。

- (2) 2人子系列は結婚後1年6ヵ月目に第1子が生れ、さらに2年10ヵ月後に第2子が生れる。モデルに用いられている01^{B1A}タイプは第1子が2.5歳、第2子が0歳、夫の年齢が29.0歳で対応している。2人子タイプは当初より16,620円の養育費分配を受け、家計費の26%から次第にその比率をまし、遂に3万円台に達して家計費の4割余を占めるに至る。川崎モデルに比し、比較的若いタイプでその受ける養育費分配量が少い。
- (3) 3人子系列は結婚後1年9ヵ月目に長子が、それから2年6ヵ月目に次子が、さらに3年4ヵ月後に末子の誕生をみ、理論的には2^{A1B1A}タイプで始まる。このモデルではそのタイプが得られず2^{A1B1B}から観察が始まるが、児童年齢は長子7.7歳、次子5.3歳、末子2.7歳、夫の年齢33.0歳で説明される。2人子タイプが高段階で家計費の4割を占めるのに対して、3人子タイプは当初から、すでに26,481円と多額の養育費分配を受けて、家計費の

4割を占めている。タイプの移行は養育費の増大に拍車をかけ、32^{B2A}タイプで4万円を超え、家計費の半ばを占めるに至り、543タイプでは、長子が高校を卒業し、すでに自家農耕に従事するようになっている5ノウ43タイプでも家計費の55%に当たる42,782円の養育費分配を受け、長子が短大在学中の5タン43タイプでは、45,855円を必要として家計費の64.7%を占めるに至る。拡大家族の形をとる農村家族で3人の児童に分配する養育費が全家計費の6割5分にも当たるこの家計実態はまことに寒心に堪えない。この段階で、すでに強度の家計緊張にあるので、さらに児童が私立大学などへと進んだ段階の養育費による家計圧迫、教育・教養費の急増による養育費構造のゆがみは想像にあまりあるものがある。

詳細な数値については、すべて表2を参照されたい。

III 養育費の構造とその変化

タイプ移行による養育費の費目構成の変化をみるために、構成比の大きさに順に配列した図2を用意した。

食料費の占める割合(食料費/実支出で示した)は児童数の多寡を問わず、すべてタイプの高段階移行に伴って次第に減するが、その傾向は児童数が多いほど激しい。

一般にエンゲル係数(通常は食料費/消費支出が用いられるが、その変化をみるためには、本例で用いた食料費/実支出でも差支えないであろう)の低下は生活の上向き状態を意味するが、図2にみられる食料費割合の低下現象は児童の養育内容の向上をあらわすものではなく、むしろ、

いわゆる“エンゲル係数の停止現象”とみるべきであろう。

タイプの移行に従って増大傾向を明らかにするのは教育・教養費であって、1人子についてはその傾向がそれほど明らかでないが、3人子ではその傾向がきわめて明瞭である。とくに3人子の5タン43タイプでは教育・教養費の占める割合はほぼ食料費の占める割合に匹敵する大きさを示している。

その他、被服費に若干の増高気配がみられるが、それほど明らかな傾向とはいえない。

図 2-1 タイプ移行に伴う養育費構成の変化 (1人子)

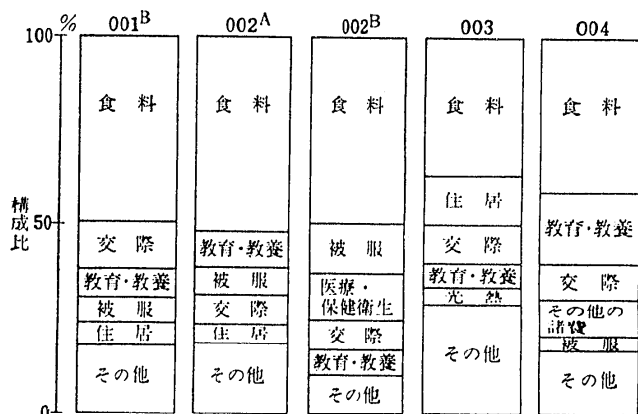


図 2-2 タイプ移行に伴う養育費構成の変化 (2人子)

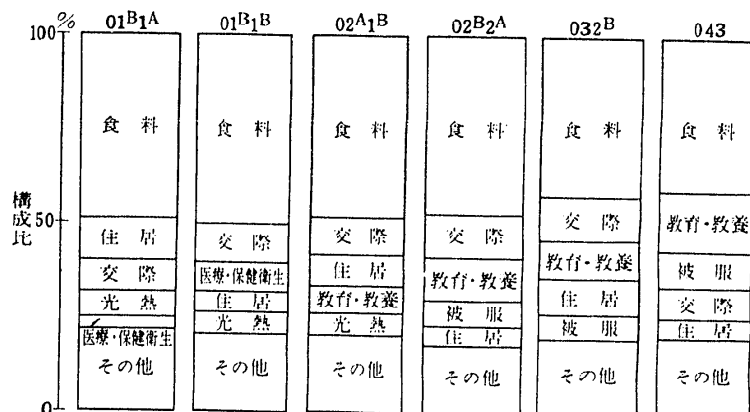
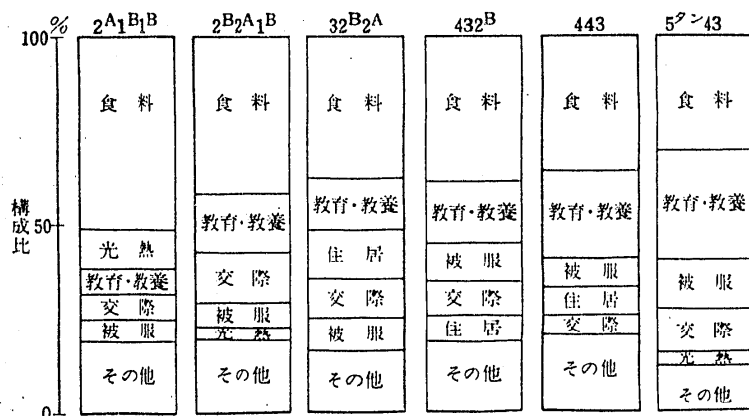


図 2-3 タイプ移行に伴う養育費構成の変化 (3人子)



IV 各児童への養育費の分配

前節まではタイプごとに(世帯単位で)養育費の総額についての観察を行ってきたが、つぎは個々の児童に分配されている養育費を図3によってながめてみよう。

図 3 児童個々への養育費の分配状況

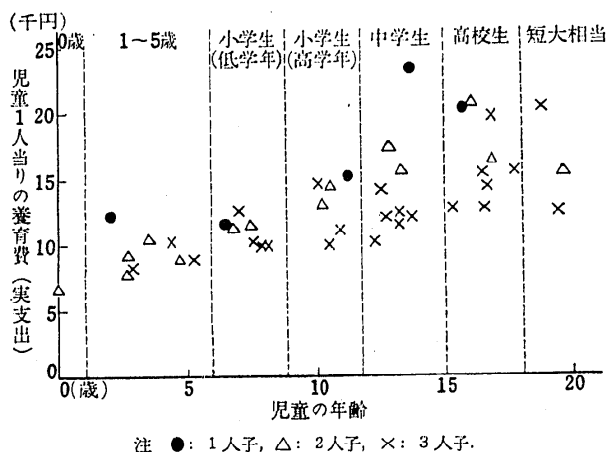
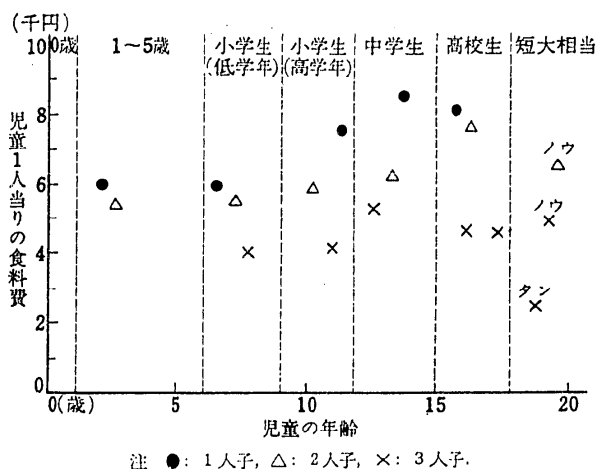


図 4 同一発達段階にある長子の食料費



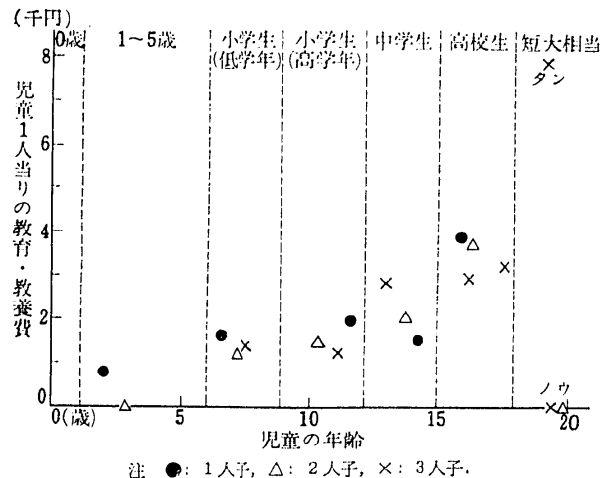
全般的にみれば児童数の少い世帯に属する児童ほどやや上方に分布し、与えられている養育費の額が多いことが分る。IIで明らかにしたように児童数の多いタイプでは養育費の家計圧迫が大きく、それは必然的に個々の児童への分配養育費を低額におしやる結果となっている。これらの点をさらに明らかにするために、同一発達段階にある長子のみをとり出し、費目ごとに児童数による格差、児童の発達段階の及ぼす影響、出生順位による影響などを観察した。

児童数の大きさをきわめて鋭敏に反映するのは食料費であって図4に示すように児童数別にかかなりの格差をみせて分布し、それは児童の成長につれて次第に額を増大している。しかし3人子の場合、発達段階の移行に伴う増大傾向が微弱な上、短大段階では著しくその額が低い。(2人子の短大在学相当年齢の者が、同様低額であるのは、家具什器と交際費、被服等の諸費への出費が多額であったためである。)

これに対し、図5にみられるように、児童数の多寡にはほぼ無関係に、児童の発達段階にのみスライドして増大するのは教育・教養費であって、食料費とはきわめて対照的に短大段階でその額が激増している。前記、短大段階の児童のはなはだしい食料費の低額は、限られた養育費枠内における、この教育・教養費の急増のあおりをうけた食料費の切り詰め結果とみることができよう。

他の費目については、雑費(一般の教養娯楽費、交通通信費、交際費、その他の雑費を内容とする)に若干規則性がうかがわれるほかは、前記、食料費、教育・教養

図 5 同一発達段階にある長子の教育・教養費



費のように明らかな傾向をみせるものはない。

V 夫婦や他の家族成員へ分配されている生活費

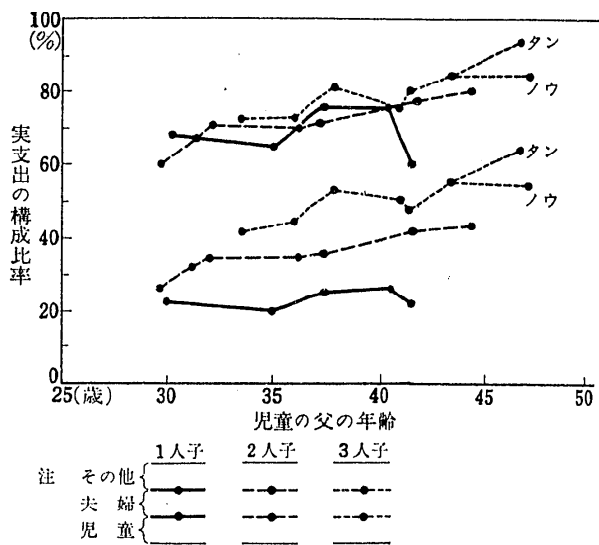
家計は養育費を児童に分配するだけでなく、児童の両親に当る夫婦や夫婦の直系尊属あるいは傍系の家族にもその生活費を分配する。

まだ児を生んでいない夫婦の生活費は夫が約 23,000 円、妻が約 17,000 円と高いが、児の出生とともに児童へ養育費の割譲が行われ、001^B タイプでの夫の生活費は 13,867 円、妻のそれは 10,968 円と児のない夫婦の生活費にくらべて半減している。前述するように、タイプの移行は児童養育費を増大せしめているが、夫婦に分配される生活費はその影響を受けず、児童数の多い夫婦ほどその額は低いにせよ、養育費の増嵩につれて、生活費を減少する傾向はみせておらず、夫婦の生活費も養育費同様、タイプの高段階移行につれてやや増大する傾向をみせている。しかし、その傾向は児童数が多いタイプでは弱い。

これらの変化の中にありながら、夫の生活費は 1, 2 の例を除いて、すべて 1 万円台を超えているが、妻の生活費は夫に比し、その 3 割前後低い。とくに 3 人子の各タイプについては、母親の生活費の切り詰めにおいて養育費枠の確保が行われ家計調節がはかれるためか、その生活費は 8~9 千円台をようやく確保するにすぎず、それは 1 日当り食料費を 120 円から、高々 150 円の低額に圧縮を余儀なくさせる結果となっている。そして、長子が高校を卒業し、農耕を手伝う段階に至ってもようやく 180 円前後を示すにとどまっている。家計調節的しわよせ結果の主婦の貧しさというのほかはない。

今、家計費を 100 として、児童、夫婦および他の家族成員の 3 者への分配関係を図 6 によってながめてみよう。3 者への生活費の分配は、いずれにせよ家計費の枠内での分配関係であるから、家族内における児童数の多寡に大きく左右され、児童養育費の家計における比重いかんによって、他の家族員への生活費分配を揺り動かす。実額でも明らかであったように、夫婦への生活費分配割合もまた、1 人子の夫婦 > 2 人子の夫婦 > 3 人子の夫婦の順にその分配比率は低いが、児童の数別にみると児童数が同じである限り、タイプの移行によって分配比率はそれほど大きな変動をみせず、1 人子の夫婦がおおむね 50%，2 人子の夫婦が 35% 前後、3 人子の夫婦が 30% 前後を示して、その分配比率は意外に安定しているといえる。夫婦の生活費が、タイプ移行にはほぼ無関係に、その児童数ごとにおおむね一定の分配比率を保っている

図 6 家計費の児童と夫婦とその他の家族成員への分配状況



姿は注目に値する。

他の家族成員である父母などの直系尊属や兄弟姉妹の傍系家族に対する生活費は「家計費-(児童養育費+夫婦の生活費)=他の家族の生活費」の関係にあり、タイプ移行につれて次第に減少する。しかし、その減少傾向は 1 人当り生活費額を減少せしめているのではなく、図 7 にみられるように、タイプ移行にともなって他の家族成員数を次第に減少している事実を反映しての分配比率の減少傾向にすぎない。したがって、3 人子タイプにおいて高段階移行が若干 1 人当りの分配比率を低めはするものの、おおむね、1 人当りの分配比率はタイプの段階移行にかかわりなくほぼ一定である。

図 7 「その他」の家族成員の平均人数と「その他」の 1 人当り生活費の家計に費占める割合(%)

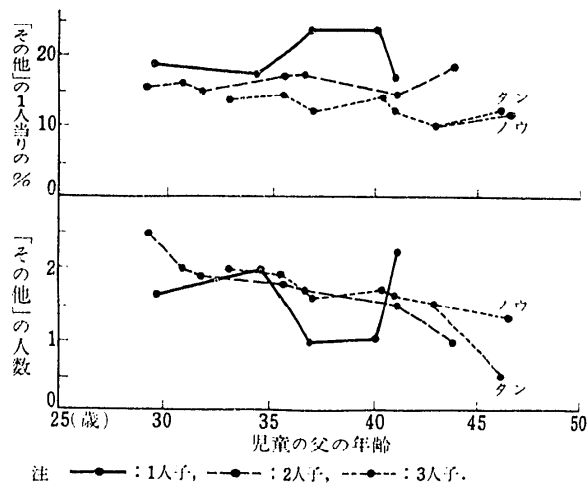


表 2 家族成員別にみた家計実支出の状況

支 出 項 目	子 が 0 の タイ プ				0 0 1 ^B						実支出 総 額
	0 0 0				0 0 1 ^B						
	実支出 総 額	夫 婦			実支出 総 額	兄 童		夫 婦			
計		夫	妻	計		第1子	計	夫	妻		
I 実 支 出	59,969	39,717	23,008	16,709	54,444	12,203	12,203	24,835	13,867	10,968	57,107
1. 食 料 費	22,280	13,775	7,072	6,703	27,479	5,999	5,999	12,043	6,454	5,589	31,145
(1) 家庭内食事	17,230	10,247	5,126	5,121	16,344	3,731	3,731	7,074	3,554	3,520	19,145
(2) お や つ	3,285	2,818	1,286	1,532	5,473	1,581	1,581	2,200	1,114	1,086	8,507
(3) 酒 類 食 費	365	310	310	—	1,350	—	—	1,160	1,160	—	1,443
(4) 外 食 費	1,400	400	350	50	4,312	687	687	1,609	626	983	2,050
(5) 給 食 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2. 住 居 費	150	60	30	30	3,325	739	739	1,487	748	739	565
3. 光 熱 費	1,314	1,064	532	532	1,387	296	296	593	297	296	1,406
4. 被 服 費	9,505	8,475	6,185	2,290	3,553	810	810	1,643	998	645	1,715
5. 医療・保健衛生費	3,145	1,570	190	1,380	1,467	397	397	739	301	438	4,158
6. 児童の教育・教養費	—	—	—	—	929	929	929	—	—	—	1,605
(1) 学校教育費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410
(2) 教材・文房具類	—	—	—	—	10	10	10	—	—	—	1,185
(3) 運動具・玩具類	—	—	—	—	919	919	919	—	—	—	10
(4) そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7. 雑 費	20,225	12,593	7,909	4,684	11,834	1,976	1,976	6,214	4,011	2,203	13,783
(1) 一般の教養娯楽費	3,500	572	216	356	643	100	100	437	382	55	5,060
(2) 交通・通信費	1,199	173	59	114	1,018	161	161	393	165	228	765
(3) 交 際 費	11,441	8,558	4,394	4,164	7,440	1,504	1,504	3,376	1,872	1,504	6,758
(4) 煙 草 費	2,675	2,675	2,675	—	1,134	—	—	925	925	—	360
(5) そ の 他	1,410	615	565	50	1,599	211	211	1,083	667	416	840
8. 非消費支出	3,350	2,180	1,090	1,090	4,470	1,057	1,057	2,116	1,058	1,058	2,730

支 出 項 目	0 0 4										実支出 総 額	計
	夫 婦			実支出 総 額	兄 童		夫 婦					
	計	夫	妻		計	第1子	計	夫	妻			
I 実 支 出	45,394	23,890	21,504	90,040	19,817	19,817	35,115	20,556	14,559	63,246	16,620	
1. 食 料 費	13,967	6,975	6,992	45,352	8,117	8,117	18,173	10,036	8,137	28,734	8,087	
(1) 家庭内食事	5,864	2,646	3,218	29,067	6,132	6,132	10,968	5,612	5,356	23,140	6,676	
(2) お や つ	5,633	2,769	2,864	7,124	1,668	1,668	2,922	1,481	1,441	3,637	1,411	
(3) 酒 類 食 費	1,860	1,180	680	2,917	—	—	1,562	1,225	337	360	—	
(4) 外 食 費	610	380	230	6,244	317	317	2,721	1,718	1,003	1,597	—	
(5) 給 食 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2. 住 居 費	6,006	3,003	3,003	3,838	606	606	981	374	607	5,855	1,867	
3. 光 熱 費	1,807	904	903	3,297	625	625	1,250	625	625	3,937	1,156	
4. 被 服 費	1,070	1,035	35	2,732	792	792	1,427	1,092	335	2,063	292	
5. 医療・保健衛生費	1,246	323	923	2,720	414	414	1,303	1,184	119	1,598	483	
6. 児童の教育・教養費	—	—	—	3,767	3,767	3,767	—	—	—	13	13	
(1) 学校教育費	—	—	—	2,300	2,300	2,300	—	—	—	—	—	
(2) 教材・文房具類	—	—	—	670	670	670	—	—	—	—	—	
(3) 運動具・玩具類	—	—	—	50	50	50	—	—	—	13	13	
(4) そ の 他	—	—	—	747	747	747	—	—	—	—	—	
7. 雑 費	8,398	5,200	3,198	18,649	3,671	3,671	8,331	5,420	2,911	10,557	1,511	
(1) 一般の教養娯楽費	1,374	685	685	2,578	152	152	2,237	2,176	61	2,055	126	
(2) 交通・通信費	1,389	1,185	204	1,636	286	286	816	506	310	2,043	11	
(3) 交 際 費	4,619	2,310	2,309	10,783	1,899	1,899	4,497	2,148	2,349	6,259	1,324	
(4) 煙 草 費	600	600	—	200	—	—	66	66	—	—	—	
(5) そ の 他	420	420	—	3,452	1,334	1,334	715	524	191	200	50	
8. 非消費支出	12,900	6,450	6,450	9,685	1,825	1,825	3,650	1,825	1,825	10,489	3,211	

子 が 1 人 の タ イ プ													
0 0 2 ^A					0 0 2 ^B					0 0 3			
児 童		夫 婦			実支出 総 額	児 童		夫 婦			実支出 総 額	児 童	
計	第 1 子	計	夫	妻		計	第 1 子	計	夫	妻		計	第 1 子
11,374	11,374	25,545	16,698	8,847	59,241	14,886	14,886	30,583	15,566	15,017	89,466	23,097	23,097
5,865	5,865	14,468	8,939	5,529	32,233	7,335	7,335	17,353	10,432	6,921	27,090	8,228	8,238
4,277	4,277	7,471	3,770	3,701	20,981	6,080	6,080	8,622	2,935	5,687	12,291	4,147	4,147
1,588	1,588	3,525	1,742	1,783	3,252	1,255	1,255	1,631	797	834	12,329	4,091	4,091
—	—	1,422	1,412	10	2,850	—	—	2,850	2,850	—	1,860	—	—
—	—	2,050	2,015	35	5,150	—	—	4,250	3,850	400	610	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
553	553	6	3	3	1,217	387	387	453	226	227	12,010	3,002	3,002
281	281	564	282	282	815	211	211	423	212	211	3,613	903	903
860	860	590	305	285	6,315	2,010	2,010	4,155	650	3,505	1,140	35	35
540	540	397	145	252	1,837	128	128	1,315	129	1,186	1,890	222	222
1,605	1,605	—	—	—	1,785	1,785	1,785	—	—	—	1,540	1,540	1,540
410	410	—	—	—	150	150	150	—	—	—	750	750	750
1,185	1,185	—	—	—	1,023	1,023	1,023	—	—	—	790	790	790
10	10	—	—	—	175	175	175	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	437	437	437	—	—	—	—	—	—
1,124	1,124	8,428	6,478	1,950	9,389	1,567	1,517	3,957	2,454	1,503	16,383	2,707	2,707
106	106	3,817	3,711	106	250	—	—	—	—	—	3,900	95	95
112	112	274	7	267	1,895	160	150	495	205	290	2,226	303	303
853	853	3,846	2,322	1,524	5,439	1,144	1,144	2,290	1,145	1,145	9,237	2,309	2,309
—	—	360	360	—	1,330	—	—	1,040	1,040	—	600	—	—
53	53	131	78	53	475	263	263	132	64	68	420	—	—
546	546	1,092	546	546	5,650	1,463	1,463	2,927	1,463	1,464	25,800	6,450	6,450

子 が 2 人 の タ イ プ													
0 1 ^B 1 ^A					0 1 ^B 1 ^B								
児 童		夫 婦			実支出 総 額	児 童			夫 婦			実支出 総 額	計
第 1 子	第 2 子	計	夫	妻		計	第 1 子	第 2 子	計	夫	妻		
9,728	6,892	21,503	12,651	8,852	52,235	16,922	8,816	8,106	18,108	9,945	8,163	63,888	22,155
5,359	2,728	9,886	5,460	4,426	26,071	9,186	4,587	4,599	9,099	5,224	3,875	31,551	10,617
4,165	2,511	7,156	3,421	3,735	17,773	6,135	3,087	3,048	5,890	2,958	2,932	20,656	7,322
1,194	217	1,033	442	591	5,119	2,708	1,371	1,337	1,333	655	678	6,129	2,869
—	—	180	180	—	1,599	—	—	—	1,050	1,021	29	2,099	—
—	—	1,517	1,417	100	1,580	343	129	214	826	590	236	2,635	394
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	32
934	933	1,868	934	934	2,795	854	431	423	864	429	435	4,071	1,845
578	578	1,158	579	579	2,698	899	450	449	901	451	450	3,508	1,202
198	94	325	195	130	1,779	836	381	455	232	109	123	3,097	1,172
285	198	490	140	350	3,916	612	300	312	2,003	435	1,568	1,947	541
13	—	—	—	—	1,110	1,110	867	243	—	—	—	1,539	1,539
—	—	—	—	—	371	371	371	—	—	—	—	466	466
—	—	—	—	—	7	7	6	1	—	—	—	182	182
13	—	—	—	—	552	552	312	240	—	—	—	755	755
—	—	—	—	—	180	180	178	2	—	—	—	136	136
756	755	4,563	3,737	826	10,499	2,261	1,125	1,136	4,031	2,808	1,223	11,246	2,819
63	63	1,177	1,114	63	916	275	152	123	358	251	107	1,552	285
6	5	1,862	1,786	76	1,562	142	66	76	739	582	157	960	102
662	662	1,474	812	662	5,371	1,526	762	764	1,737	972	765	6,762	2,165
—	—	—	—	—	1,369	—	—	—	806	806	—	867	—
—	25	50	25	25	1,281	318	145	173	391	197	194	1,105	267
1,605	1,606	3,213	1,606	1,607	3,367	1,164	675	489	978	489	489	6,929	2,420

支 出 項 目	0 2 ^A 1 ^B					0 2 ^B 2 ^A					
	児 童		夫 婦			実支出 総 額	児 童			夫 婦	
	第1子	第2子	計	夫	妻		計	第1子	第2子	計	夫
I 実 支 出	11,133	11,022	23,306	13,338	9,968	67,567	23,443	12,270	11,173	23,460	13,165
1. 食 料 費	5,331	5,286	11,779	6,880	4,899	32,115	11,139	5,647	5,492	11,368	6,269
(1) 家庭内食事	3,765	3,557	7,020	3,513	3,507	21,848	7,843	4,023	3,820	7,685	3,900
(2) お や	1,403	1,466	1,831	849	982	7,174	3,196	1,578	1,618	2,191	1,062
(3) 酒 類	—	—	1,559	1,559	—	1,693	—	—	—	1,073	920
(4) 外 食	131	263	1,369	959	410	1,350	50	25	25	419	387
(5) 給 食	32	—	—	—	—	50	50	21	29	—	—
2. 住 居 費	653	1,192	1,184	596	588	3,489	1,153	558	595	1,210	665
3. 光 熱 費	601	601	1,204	602	602	2,203	754	377	377	756	379
4. 被 服 費	628	544	1,340	689	651	4,051	1,622	940	682	1,471	1,101
5. 医療・保健衛生費	219	322	587	189	398	3,211	597	351	246	1,202	257
6. 児童の教育・教養費	1,103	436	—	—	—	2,525	2,525	1,556	969	—	—
(1) 学校教育費	332	134	—	—	—	476	476	265	211	—	—
(2) 教材・文房具類	173	9	—	—	—	1,206	1,206	758	448	—	—
(3) 運動具・玩具類	483	272	—	—	—	443	443	246	197	—	—
(4) そ の 他	115	21	—	—	—	400	400	287	113	—	—
7. 雑 費	1,388	1,431	4,789	3,170	1,619	13,484	3,288	1,658	1,630	5,225	3,480
(1) 一般の教養娯楽費	140	145	891	720	171	1,942	217	108	109	1,284	1,150
(2) 交通・通信費	37	65	496	371	125	868	111	59	52	121	54
(3) 交 際 費	1,080	1,085	2,397	1,264	1,133	8,141	2,703	1,351	1,352	2,826	1,429
(4) 煙 草 費	—	—	640	640	—	1,313	—	—	—	779	739
(5) そ の 他	131	136	365	175	190	1,220	257	140	117	215	108
8. 非消費支出	1,210	1,210	2,423	1,212	1,211	6,489	2,365	1,183	1,182	2,228	1,014

支 出 項 目	0 5ノウ4										
	妻	実支出 総 額	兄 童			夫 婦			実支出 総 額	兄 童	
			計	第 1 子	第 2 子	計	夫	妻		計	第 1 子
I 実 支 出	14,057	74,035	32,008	15,211	16,797	28,256	13,865	14,391	63,758	26,481	9,474
1. 食 料 費	6,769	34,390	13,770	6,563	7,207	13,922	7,244	6,678	33,016	13,508	4,116
(1) 家庭内食事	5,203	25,150	10,101	4,904	5,197	9,755	4,911	4,844	21,443	9,327	3,148
(2) お や	1,507	6,186	2,792	1,349	1,443	2,523	1,266	1,257	4,473	2,781	943
(3) 酒 類	9	601	—	—	—	601	601	—	2,922	—	—
(4) 外 食	50	2,453	877	310	567	1,043	466	577	4,153	4,153	1,375
(5) 給 食 費	—	—	—	—	—	—	—	—	25	25	—
2. 住 居 費	678	13,880	5,134	2,984	2,150	5,401	2,984	2,417	163	69	23
3. 光 熱 費	551	3,491	1,405	702	703	1,406	703	703	6,667	2,856	952
4. 被 服 費	370	3,232	2,178	1,108	1,070	862	315	547	2,478	1,633	616
5. 医療・保健衛生費	719	2,027	388	294	94	1,264	180	1,084	3,007	1,516	592
6. 児童の教育・教養費	—	3,173	3,173	—	3,173	—	—	—	1,775	1,775	1,348
(1) 学校教育費	—	3,040	3,040	—	3,040	—	—	—	392	392	392
(2) 教材・文房具類	—	33	33	—	33	—	—	—	473	473	433
(3) 運動具・玩具類	—	67	67	—	67	—	—	—	807	807	420
(4) そ の 他	—	33	33	—	33	—	—	—	103	103	103
7. 雑 費	3,756	9,182	4,228	2,694	1,534	3,669	1,573	2,096	10,935	2,673	1,010
(1) 一般の教養娯楽費	1,361	2,594	1,545	1,448	97	788	98	690	2,149	364	129
(2) 交通・通信費	219	854	381	146	235	400	96	304	1,668	387	245
(3) 交 際 費	1,727	5,065	2,230	1,064	1,166	2,130	1,065	1,065	4,931	1,766	584
(4) 煙 草 費	—	498	—	—	—	277	277	—	1,353	—	—
(5) そ の 他	449	171	72	36	36	74	37	37	834	156	52
8. 非消費支出	1,214	4,660	1,732	866	866	1,732	866	866	5,717	2,451	817

子 が 2 人 の タ イ プ													
	0 3 2 ^B							0 4 3					
	実支出 総 額	児 童			夫 婦			実支出 総 額	児 童			夫 婦	
妻		計	第 1 子	第 2 子	計	夫	妻		計	第 1 子	第 2 子	計	夫
10, 295	78, 582	28, 765	14, 870	13, 895	27, 708	14, 748	12, 960	89, 136	37, 659	20, 376	17, 283	31, 841	17, 784
5, 099	34, 510	12, 183	6, 185	5, 998	12, 227	6, 601	5, 626	40, 817	15, 206	7, 391	7, 815	15, 095	8, 326
3, 785	24, 161	8, 871	4, 492	4, 379	8, 266	4, 090	4, 176	29, 447	11, 359	5, 623	5, 736	10, 423	5, 220
1, 129	7, 341	3, 143	1, 582	1, 561	2, 317	1, 148	1, 169	8, 682	3, 752	1, 737	2, 015	2, 995	1, 488
153	1, 264	—	—	—	847	799	48	1, 685	4	4	—	1, 371	1, 362
32	1, 703	128	75	53	797	564	233	974	62	27	35	306	256
—	41	41	36	5	—	—	—	29	29	—	29	—	—
545	6, 063	2, 708	1, 316	1, 392	2, 058	1, 045	1, 013	4, 229	1, 967	1, 015	952	1, 388	710
377	4, 169	1, 508	754	754	1, 509	755	754	3, 005	1, 102	551	551	1, 102	551
370	4, 091	1, 792	829	963	2, 157	1, 045	1, 112	4, 944	3, 382	1, 761	1, 621	1, 009	639
945	1, 444	482	186	296	565	277	288	3, 467	1, 661	1, 182	479	1, 000	281
—	2, 890	2, 890	2, 011	879	—	—	—	5, 986	5, 986	3, 565	2, 421	—	—
—	1, 423	1, 423	1, 138	285	—	—	—	3, 136	3, 136	2, 031	1, 105	—	—
—	827	827	480	347	—	—	—	1, 040	1, 040	633	407	—	—
—	335	335	236	99	—	—	—	582	582	—	582	—	—
—	305	305	157	148	—	—	—	1, 228	1, 228	901	327	—	—
1, 745	17, 932	4, 496	2, 236	2, 260	6, 515	3, 686	2, 829	18, 012	5, 827	3, 421	2, 406	8, 001	4, 245
134	3, 973	228	114	114	1, 019	595	424	4, 294	1, 419	689	730	2, 000	639
67	503	52	12	40	256	137	119	1, 374	847	792	55	278	59
1, 397	9, 724	3, 320	1, 660	1, 660	3, 526	1, 731	1, 790	9, 512	3, 046	1, 570	1, 476	4, 088	2, 361
40	1, 009	—	—	—	677	677	—	1, 003	—	—	—	646	646
107	2, 723	896	450	446	1, 042	546	496	1, 829	515	370	145	989	540
1, 214	7, 483	2, 706	1, 353	1, 353	2, 677	1, 339	1, 338	8, 676	2, 528	1, 490	1, 038	4, 246	3, 032

子 が 3 人 の タ イ プ													
2 ^A 1 ^B 1 ^B					2 ^B 2 ^A 1 ^B								実 支 出 額
児 童		夫 婦			実支出 総 額	児 童				夫 婦			
第 2 子	第 3 子	計	夫	妻		計	第 1 子	第 2 子	第 3 子	計	夫	妻	
8,651	8,356	19,863	11,323	8,540	71,765	31,222	10,981	9,820	10,421	20,906	11,968	8,938	76,518
4,820	4,572	10,353	5,968	4,385	28,164	12,929	4,206	4,194	4,529	8,568	4,818	3,750	32,084
3,187	2,992	5,937	3,032	2,905	18,445	8,393	2,753	2,755	2,885	5,400	2,745	2,655	22,518
1,037	801	875	420	455	6,454	3,851	1,226	1,195	1,430	1,523	781	742	6,931
—	—	1,483	1,483	—	1,202	—	—	—	—	901	831	70	2,082
596	779	2,058	1,033	1,025	2,010	632	217	205	210	744	461	283	543
—	—	—	—	—	53	53	10	39	4	—	—	—	10
23	23	48	24	24	2,293	979	327	326	326	655	328	327	5,788
952	952	1,906	953	953	2,242	987	329	329	329	660	330	330	4,182
626	391	410	223	187	6,068	2,132	877	676	579	933	573	300	4,181
370	554	740	296	444	2,147	639	169	338	132	962	469	493	2,062
241	186	—	—	—	4,867	4,867	2,233	1,121	1,513	—	—	—	5,534
—	—	—	—	—	1,512	1,512	393	270	849	—	—	—	2,252
17	23	—	—	—	475	475	220	254	1	—	—	—	1,596
224	163	—	—	—	624	624	171	197	256	—	—	—	816
—	—	—	—	—	2,256	2,256	1,449	400	407	—	—	—	870
802	861	4,772	3,042	1,730	18,951	5,555	1,795	1,791	1,969	7,038	4,405	2,633	14,762
129	109	1,146	954	192	2,177	362	122	132	108	667	436	231	922
30	112	921	452	469	1,315	306	34	30	242	431	230	201	1,111
591	591	1,533	783	750	12,250	4,277	1,426	1,426	1,425	4,208	2,285	1,923	9,838
—	—	634	634	—	1,105	—	—	—	—	949	949	—	1,982
52	52	538	219	319	2,104	610	213	203	194	783	505	278	909
817	817	1,634	817	817	7,033	3,134	1,045	1,045	1,044	2,090	1,045	1,045	7,925

支 出 項 目	子 が 3 人 の タ イ プ										
	3 2 ^B 2 ^A										
	児 童				夫 婦			実支出 総 額	児 童		
	計	第1子	第2子	第3子	計	夫	妻		計	第1子	第2子
I 実支出	40,540	13,573	14,159	12,808	21,048	12,132	8,916	64,992	32,998	12,699	10,861
1. 食料費	15,099	5,124	4,901	5,074	10,498	6,308	4,190	31,258	14,071	4,546	4,793
(1) 家庭内食事	10,831	3,661	3,525	3,645	6,559	3,363	3,196	23,521	11,272	3,672	3,872
(2) おやつ	4,258	1,463	1,366	1,429	1,601	771	830	5,541	2,762	874	888
(3) 酒類	—	—	—	—	2,025	2,025	—	1,511	—	—	—
(4) 外食	—	—	—	—	313	149	164	664	16	—	16
(5) 給食費	10	—	10	—	—	—	—	21	21	—	17
2. 住居費	5,203	763	2,365	2,075	351	176	175	1,156	554	151	266
3. 光熱費	1,877	626	626	625	1,252	626	626	3,196	1,437	477	477
4. 被服費	3,473	1,166	1,326	981	606	520	86	4,361	3,115	1,369	1,166
5. 医療・保健衛生費	810	187	320	303	284	76	208	1,432	894	264	206
6. 児童の教育・教養費	5,535	2,909	1,698	928	—	—	—	5,419	5,419	2,769	1,660
(1) 学校教育費	2,252	1,292	622	338	—	—	—	3,415	3,415	2,207	786
(2) 教材・文房具類	1,597	689	584	324	—	—	—	1,180	1,180	326	496
(3) 運動具・玩具類	816	436	166	214	—	—	—	488	488	29	356
(4) その他	870	492	326	52	—	—	—	336	336	207	22
7. 雑費	5,091	1,647	1,772	1,672	5,703	3,249	2,454	13,493	5,531	2,462	1,632
(1) 一般の教養娯楽費	442	127	187	128	307	129	178	3,782	1,270	436	417
(2) 交通・通信費	203	68	68	67	181	73	108	1,149	938	883	20
(3) 交際費	4,085	1,361	1,362	1,362	3,370	1,363	2,007	6,791	3,048	951	1,127
(4) 煙草費	—	—	—	—	1,449	1,449	—	1,030	—	—	—
(5) その他	361	91	155	115	396	235	161	741	275	182	68
8. 非消費支出	3,452	1,151	1,151	1,150	2,354	1,177	1,177	4,677	1,983	661	661

支 出 項 目	4 4 3							5タン4 3			
	児 童			夫 婦			実支出 総 額	児 童			
	第1子	第2子	第3子	計	夫	妻		計	第1子	第2子	第3子
	第1子	第2子	第3子	計	夫	妻	総 額	計	第1子	第2子	第3子
I 実支出	16,031	12,884	9,913	20,813	12,729	8,084	77,827	42,782	11,536	19,516	11,730
1. 食料費	4,455	4,671	4,733	10,142	5,689	4,453	31,501	15,497	4,970	6,042	4,485
(1) 家庭内食事	3,429	3,657	3,678	6,478	3,307	3,171	22,241	11,003	3,751	3,550	3,702
(2) おやつ	835	971	912	1,510	721	789	4,870	2,573	929	880	764
(3) 酒類	—	—	—	1,145	1,137	8	954	—	—	—	—
(4) 外食	191	43	83	1,009	524	485	3,436	1,921	290	1,612	19
(5) 給食費	—	—	60	—	—	—	—	—	—	—	—
2. 住居費	2,221	438	21	42	21	21	1,887	862	351	256	255
3. 光熱費	336	336	335	672	336	336	2,445	1,179	393	393	393
4. 被服費	2,066	354	507	2,406	1,858	548	5,503	4,518	239	3,755	524
5. 医療・保健衛生費	249	126	323	176	5	171	1,891	600	173	207	220
6. 児童の教育・教養費	3,228	4,027	1,763	—	—	—	5,664	5,664	—	2,911	2,753
(1) 学校教育費	2,206	2,033	799	—	—	—	3,371	3,370	—	2,325	1,045
(2) 教材・文房具費	867	388	446	—	—	—	970	971	—	386	585
(3) 運動具・玩具類	155	186	293	—	—	—	265	265	—	—	265
(4) その他	—	1,420	225	—	—	—	1,058	1,058	—	200	858
7. 雑費	2,248	1,587	1,003	4,914	3,587	1,327	19,946	10,145	3,971	4,513	1,661
(1) 一般の教養娯楽費	508	94	146	1,019	955	64	2,945	1,841	1,505	163	173
(2) 交通・通信費	905	725	72	356	66	290	2,995	1,884	369	1,480	35
(3) 交際費	697	697	730	2,483	1,620	863	10,304	4,474	1,524	1,525	1,425
(4) 煙草費	—	—	—	628	628	—	932	—	—	—	—
(5) その他	138	71	55	428	318	110	2,770	1,946	573	1,345	28
8. 非消費支出	1,228	1,345	1,228	2,461	1,233	1,228	8,990	4,367	1,439	1,439	1,439

4 3 2 ^A				4 3 2 ^B									
第3子	夫 婦			実支出 総額	児 童				夫 婦			実支出 総額	計
	計	夫	妻		計	第1子	第2子	第3子	計	夫	妻		
9,438	16,310	9,027	7,283	78,014	37,534	15,082	11,768	10,684	25,349	15,405	9,944	70,184	38,828
4,732	8,933	4,794	4,139	32,101	14,316	4,871	4,818	4,627	11,204	6,676	4,528	30,361	13,859
3,728	6,624	3,366	3,258	22,184	11,021	3,747	3,699	3,575	6,553	3,186	3,367	21,819	10,764
1,000	1,448	641	807	5,874	3,139	999	1,095	1,047	1,688	763	925	5,170	2,718
—	577	577	—	1,250	—	—	—	—	1,062	1,062	—	1,825	—
—	284	210	74	2,769	132	127	—	5	1,901	1,665	236	1,487	317
4	—	—	—	24	24	—	24	—	—	—	—	60	60
137	284	138	146	5,759	2,810	830	1,182	798	1,668	871	797	2,732	2,680
477	956	478	478	3,773	1,735	578	579	578	1,159	579	580	2,019	1,007
580	338	148	190	5,229	3,652	2,024	791	837	1,477	752	725	5,378	2,927
424	313	171	142	3,080	532	118	236	178	629	362	267	1,040	698
990	—	—	—	6,222	6,222	3,597	1,555	1,070	—	—	—	9,018	9,018
422	—	—	—	3,351	3,351	2,101	844	406	—	—	—	5,038	5,038
358	—	—	—	971	971	441	273	257	—	—	—	1,701	1,701
103	—	—	—	566	566	36	238	192	—	—	—	634	634
107	—	—	—	1,334	1,334	1,019	100	215	—	—	—	1,645	1,645
1,437	3,855	2,328	1,527	14,057	4,634	1,853	1,396	1,385	6,783	4,947	1,836	11,781	4,838
417	841	395	446	1,814	286	131	77	78	1,217	831	386	1,964	748
35	100	18	82	1,295	373	263	39	71	575	445	130	2,193	1,702
960	1,997	1,023	974	8,632	3,385	1,202	1,089	1,094	3,501	2,278	1,223	5,923	2,124
—	786	786	—	596	—	—	—	—	547	547	—	827	—
25	131	106	25	1,720	590	257	191	142	943	846	97	874	264
661	1,631	970	661	7,793	3,633	1,211	1,211	1,211	2,429	1,218	1,211	7,855	3,801

5ノウ 4 3										
夫 婦			実支出 総額	児 童				夫 婦		
計	夫	妻		計	第1子	第2子	第3子	計	夫	妻
23,313	13,617	9,696	70,879	45,855	19,681	14,706	11,468	20,995	11,565	9,430
10,565	5,880	4,685	27,994	13,954	2,750	5,662	5,542	11,752	6,239	5,513
7,085	3,492	3,593	21,275	10,532	2,240	4,153	4,139	9,181	5,040	4,141
1,473	718	755	6,007	3,372	460	1,509	1,403	2,459	1,199	1,260
916	916	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,091	754	337	712	50	50	—	—	112	—	112
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
592	345	247	1,047	548	12	243	293	487	243	244
788	395	393	3,316	1,721	574	573	574	1,147	573	574
823	420	403	6,463	5,963	4,105	1,613	245	409	292	117
820	358	462	1,117	257	28	128	101	798	759	39
—	—	—	13,250	13,250	7,860	3,383	2,007	—	—	—
—	—	—	2,870	2,870	250	1,850	779	—	—	—
—	—	—	3,992	3,992	2,032	1,533	427	—	—	—
—	—	—	605	605	—	—	605	—	—	—
—	—	—	5,783	5,783	5,578	—	205	—	—	—
6,845	4,779	2,066	14,267	8,450	3,781	2,534	2,135	5,260	2,888	2,372
712	582	130	1,463	768	549	110	109	694	585	109
1,087	960	127	1,450	1,206	1,053	150	2	241	3	238
3,833	2,108	1,725	9,619	5,321	1,127	2,222	1,972	4,046	2,073	1,973
781	753	28	175	—	—	—	—	175	—	—
432	376	56	1,560	1,155	1,052	52	51	104	52	52
2,880	1,440	1,440	3,425	1,712	571	570	571	1,142	571	571

結 語

以上の観察結果で明らかなように、農村家族においても児童数の多きは家計緊張が著しく、タイプの段階移行がそれに拍車をかけているさまが明瞭となった。

すなわち、児童の発達段階の移行は児童数にはかわりなく教育・教養費の増嵩を主因として次第に養育費を増大させる。そして、児童数の多いタイプでは若い段階においてすでに多額の養育費出費を余儀なくさせられているため家計緊張の度合が高く、教育・教養費の増大は、児童のみならず家族成員のすべてにわたって、いわゆるエンゲル係数の停止現象を示し、食生活に赤信号をとまずに至る。しかも、その食料費の切り詰めは家族の主婦において最も激しく、前記の150円にも満たない低額で1日をすごさなくてはならない家計実態を示している。出生順位別養育費にも数値としては差がみられるが、それは児童数や児童の発達段階からくる個々の児童への影響とは異り、養育費のレベルとは無関係に単なる時間的な遅れ差とみることができる。

川崎例のような都市勤労家計群における家計収入は、その主要収入源である世帯主の勤労所得が年功序列賃金に支えられて次第に増加するために、児童の成長に伴う養育費の増嵩にある程度は堪えることができようが、農家の経営規模は家族周期の段階移行とは全く無関係であるので、農村家族における段階移行は勤労家計群よりも家計緊張を高め、高段階では養育費に多大の影響を及ぼすものと考えられたが、事実はその逆であって、高段階タイプの養育費規模は本例の農家家計群においてかえって高い。川崎例は核家族、本例は直系尊属や傍系を含む大家族であるために、夫婦に分配される生活費は、農家群の方が、その絶対額においても、分配比率においても低く、夫婦、とくに主婦の生活費切り詰めによる家計調節の度合が強いことは否めないが、それにもせよ農家家計の弾力性は大きいとみななければなるまい。自家生産物の自家消費をその中核とする農家家計の経済構造の中に、支出規模に順応する伸縮性がひめられているのであろうか。

本論の分析過程においては、経営規模による影響についても、十分吟味を行ったが、経営規模の高まりは家計規模全体を若干高めてはいるものの、それは養育費の規模を変化させるほど決定的なものではなく、養育費の格差と変動を決定づけるものは、児童数と児童の発達段階の二要素であって、経営規模によって定まるものではないことがほぼ明らかとなった。中でも、食料費と教育・

教養費は、上記、二要因による影響が著しく、また、その傾向にも規則性がみられる。しかも、その傾向は勤労所得を収入源泉とする都市購入家計群の川崎例であると、農家家計群である本例とを問わず近似的であり、その分配をうける量もほぼ等しい。

今、児童の年齢を x 、食料費を y として、最小二乗法による2次多項式のあてはめを行うと、児童の数別に次式が得られる。

$$1人子 \quad y = 7.7622x^2 + 368.68x + 4116.0$$

$$2人子 \quad y = -9.5743x^2 + 378.28x + 2978.0$$

$$3人子 \quad y = -44.580x^2 + 1121.3x - 1825.2$$

また、教育・教養費および学校教育費は指数関数があてはまると思われるので、最小二乗法によって計算すると次式が得られる。

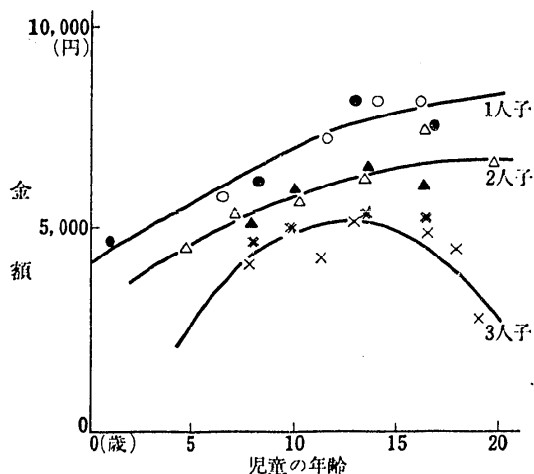
$$\text{教育・教養費} \quad y = 507.8 \times 1.130^x$$

$$\text{学校教育費} \quad y = 85.27 \times 1.200^x$$

これを図示したのが図8であって、児童の年齢に対応して y の値が定まる。おそらく、家計収入の種類、家計の規模、家族人員などの諸要素がどのような値を示そうとも、食料費は児童数と発達段階が、教育・教養費と学校教育費は発達段階が定まれば、その分配額は y の値の近傍において決定されるであろう。そして、この2大費目の構成比率の逆数を拡大乗数として用いることによって、児童の発達段階に応じた養育費概算額を算出することも可能性となるであろう。

以上の分析結果からみるように、養育費の面では、この農村家計でも3人子は劣位におかれ、1人子は恵まれているが、分析Ⅲ（長嶺晋吉執筆）と対置すると、児童の発育に最も重要な時期である高段階タイプ児が3人子

図 8-1 食 料 費 曲 線



注 ▲●×：川崎例，△○×：本研究例。

図 8-2 教育・教養費曲線

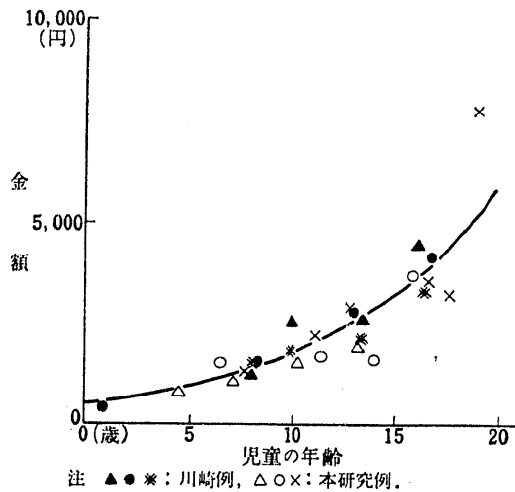
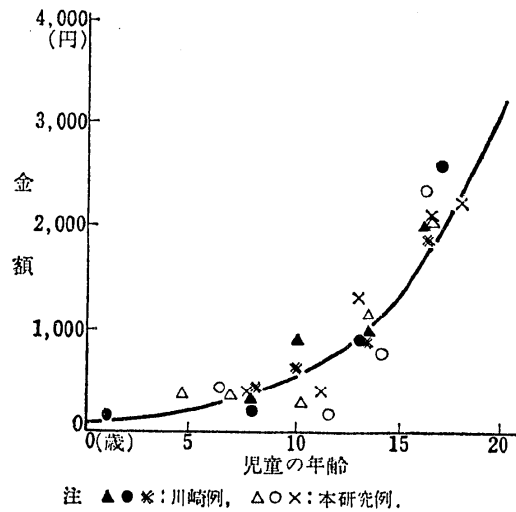


図 8-3 学校教育費曲線



の場合、その栄養摂取が乏しいのは、前述するように高い家計緊張の中で十分な養育費の分配をうけることのできない、正に経済的理由を主因としており、1人子が恵まれた養育費の分配をうけながら、その栄養摂取が悪いのは、分析Ⅲに指摘されているように、総体的には甘やかされたおやつの摂取にその原因をおき、育児経験の未熟、労働時間の過多からの献立の放棄などを背景に、乳幼児期における1人子の憂うべき栄養摂取の貧しさとなってあらわれるのであろう。

児童の健全な育成は、これらの実態を踏まえた適切な生活指導と外的なテコ入れが必要であることはいうまでもないが、自らの家計サイクルを知悉した生活設計の樹

立もまた大いに望まれるところである。

後 記

1. この研究は昭和41年度の厚生科学研究費の補助を受けて中鉢正美氏(慶応大)を主任研究者として行われたものである。
2. 研究の計画、実査、とりまとめに当っては、分担執筆者以外に、小沼正(社会保障研究所)、伊藤秋子(お茶ノ水女子大)、岡村益(福島大)、湯本和子(学習院短大)の参加のほか、田中忠雄、石原邦雄、西郷祥子、大本圭野、永野幸江、広瀬雅子の諸氏の惜しみない協力を得ていることを付言して、ここに謝意を表する次第である。

執 筆 者 紹 介

与 田 征	まさき	大阪経済大学助教授
村 上 清	きよし	日本団体生命業務部次長
江 口 英 一	えい いち	日本女子大学教授
花 島 政 三 郎	はな し ま さぶ ろう	社会保障研究所員
森 岡 清 美	もり おか きよ み	東京教育大学助教授・社会保障研究所専門委員
前 田 正 久	まえ だ まさ ひさ	厚生省大臣官房統計調査部統計調査官
長 嶺 晋 吉	なが みね しん き	国立栄養研究所調査統計部長
磯 部 し づ 子	いそ べ し づ こ	国立栄養研究所調査研究室長
山 川 喜 久 江	やま かわ き く え	国立栄養研究所員